The Zoological Society of Japan

日本産倍足類及び唇足類の分類学的研究 13. ヤスデの 2 新種について

三 好 保 徳 (愛媛松山北高等学校)

昭和 29 年 10 月 10 日 受領

1. *Leucodesminus verrucosus* sp. nov. (トサシロハダヤスデ)

体は汚褐色。雄で体長約 10 mm, 体幅 4 mm。頭部は殆ど頸板に覆われ，触角は棍棒状で汚赤色。頸板は両側の尖つた楕円形，後縁には著しい円形の切れ込みあり背面には 7-8 列の不規則な顆粒例がある。名側庇は著しく発達し，一般の形態は本属の他種に似ている。しかし生殖肢に著しい特徴があつて区別することが出来る。即ち生殖肢の基節は大形，前腿節部は卵形で剛毛あり，腿節部は長くて彎曲し，先はまず 2 つの大形弁片状の枝に分れ，その第 1 枝は基部において前腿節部の方へ向う大枝を出す。そして主枝よりこの枝の方が長い。主枝は中央部で少しふくらみ急にほそくとがつて終る。その第 2 枝の方は他の同属の種の如く基部に 1 枝あり，共に扁平でその縁には若干の鋸歯あり。第 1 枝の基部に接続する腿節部には多くの短い棘で被われた扁平な突出物が発達している。尚第 1 枝と第 2 枝との間の外側から精溝枝が発達している (Abb. 1. A, B, C)。Holotype は体長約 10 mm の雄。産地は高知県高岡郡石田洞のなかにおいて 1953 年 3 月 19 日京都大学の吉井良三先生，上野俊一氏達によつて採集せられたものである。ここにそのことを記し深い感謝をささげるものである。
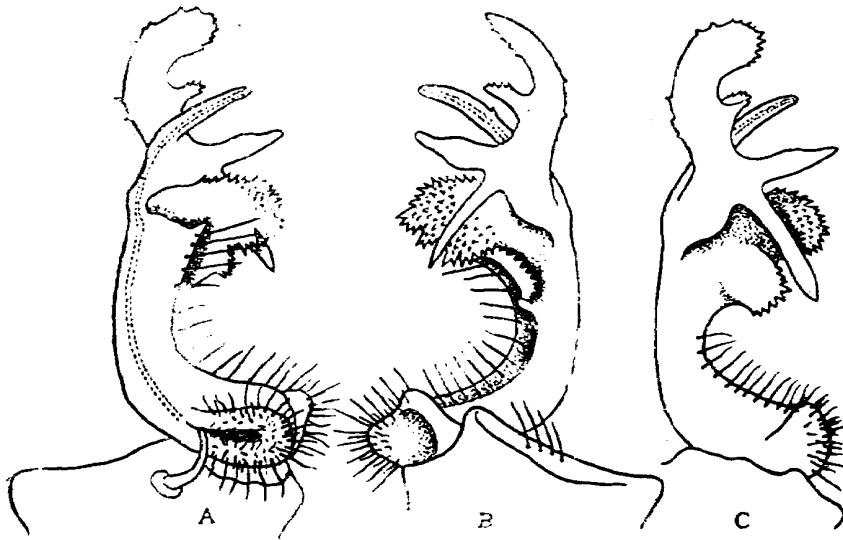
Abb. 1. *Leucodesminus verrucosus* sp. nov. A, B, C: Gonopoden

2. *Epanerchodus etoi* sp. nov. (エトウオビヤスデ)

雄体長 30-35 mm, 幅 3.4-4,3 mm。雌も略この大きさである。大形の *Epanerchodus* で体は茶褐赤色。頭幅は頸板のそれより大で粗毛あり。触角は甚だ長く第 7, 第 6, 第 5 節の長さと幅との比はそれぞれ 15 : 13, 23 : 10, 11 : 3 である。頸板は全く楕円形で彫刻模様は不明瞭。外角には短い Stäbchen あり。第 2 背板は頸板よりやや幅広く第 3 背板は第 2 と同幅第 4 はそれらより少し幅広く第 5 はさらに幅広く以後は略同幅である。各背板の彫刻模様は明らかであるが平面的で著しくはない。側庇は水平に突出し後角は大体第 6 より突出するが体の前方の側庇を除き前角は極めてゆるやかに傾斜していて角ばらない (Abb. 2. c)。側庇側縁の鋸歯は微小又は不明瞭。臭孔は側縁に近く開口していて大形。第 19 Hinterzipfel は極めて短小。雄の体前方部の歩肢には Kugelborste あり。各歩肢においてその Tarsus の長さが他種に比して甚だ長い。胸板には十字溝あり且つ剛毛密生している。しかし体の後方の胸板では剛毛短かくまばらとなる。雄の第 3 より第 7 歩肢までの胸板には各 1 対の大形瘤状突起あり，そのうち第 6 対歩肢基節間のものが最大である。生殖肢の前腿節部に剛毛密生，腿節部は方形に近い。Clivus は半円形で比較的小形。Endomerit は著大で角状，脛跗節は中央部に大形の枝を生じその枝は基部で著しく膨出している。そして脛跗節より長くその先端 2 叉す。脛跗節はさらにその中央外側に小棘あり又はなし。この生殖肢の形態，雄の前方胸板に各大形瘤

NII-Electronic Library Service

The Zoological Society of Japan

状突起あること，側距前角が甚だ傾斜せる点などは本種の特徴として著しい点である。

Holotype は体長 33 mm の雄。Allotype は体長 35 mm の雌。産地は山口県秋芳洞内。1952 年 4 月 1 日高知女子大学石川重治郎先生達によつて採集されたものであるが筆者もまた 1954 年 8 月 9 日秋芳洞に入り恵藤氏に案内を受け多くの本種を得た。本種の種小名及び和名は秋吉村にあつて秋芳洞の研究家として著名な前記恵藤一郎先生にささげお世話になつたことえの感謝の意を表し且その名を記念しようとするものである。上記 2 新種の模式標品は筆者が保存している。尚ここに標品を恵まれた石川重治郎先生に深謝する者である。さらに本種は秋吉地方の諸洞穴に広く分布していることを附記する。
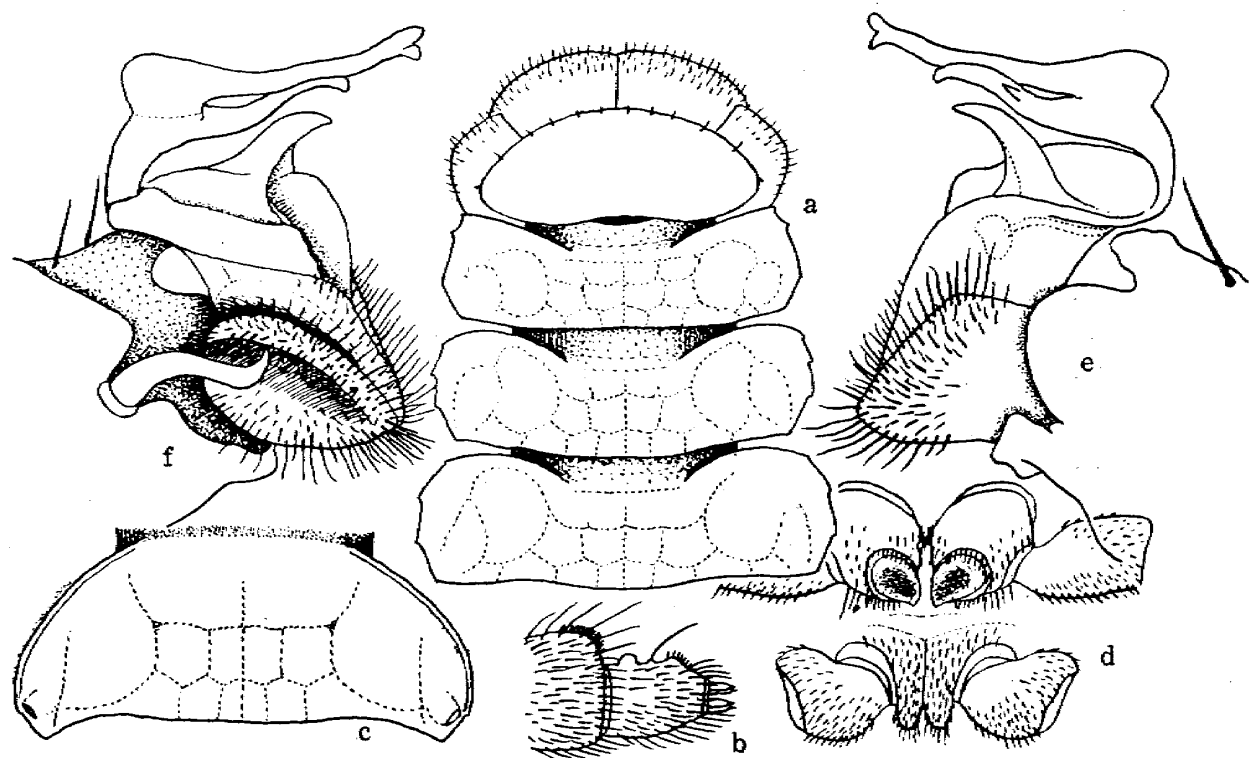
Abb. 2. *Epanerchodus etoi* sp. nov. a: Körpervorderende. b: Endglied der Antenne. c: 10. Tergit. d: 2. und 3. Bein. e, f: Gonopode.

Résumé

Beiträge zur Kenntnis japanischer Myriopoden. 13. Aufsatz: Über Zwei Neue Arten von Diplopoda.

Yasunori Miyosi

Matuyama Kita Koto-Gakko

1. *Leucodesminus verrucosus* sp. nov. Abb. 1.

Körperfarbe gelblichbraun. Länge Männchen und Weibchen beide ca 10 mm, Breite ca 4 mm. Kopf ganz vom Halsschild bedeckt. Gonopoden sind sehr merklich wie sie sich in Abb. 2. zeigen. Femur mässig lang, etwas gebogen und distal in 2 grosse lamellöse Aste geteilt, der erste an der Basis zweigeteilt, und zweite am Mitte zweigeteilt, d. i. spannerförmig. Am Aussenseitenrand des Femur-

NII-Electronic Library Service